

「京都刑務所敷地の活用を核とする未来の山科のまちづくり戦略(素案)」に関する 市民意見募集結果

1 募集期間

平成30年11月9日（金）～12月10日（月）

2 周知方法

ホームページ掲載，市民しんぶん掲載（山科区版，11月15日号），山科区公式アプリ「やましなプラス+」掲載，市民意見募集冊子の配布（市役所案内所，各区役所・支所，地下鉄各駅，商工会議所，地域内及び周辺の市立図書館，大学，文化施設等），イベントでの周知ブース出展 等

3 募集結果

(1) 意見数

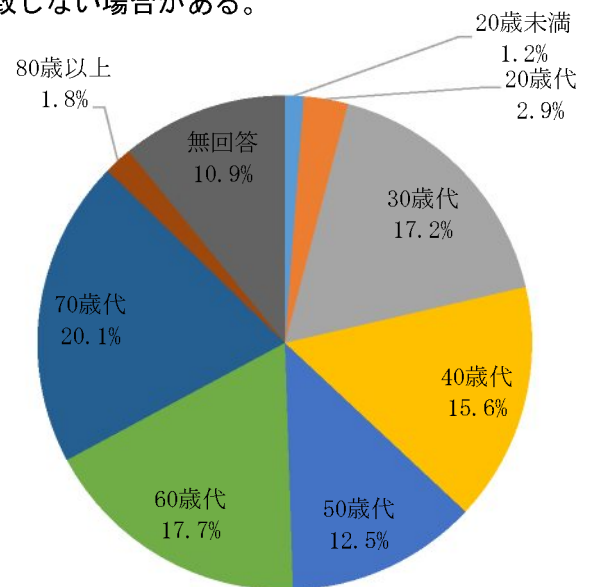
意見者数：487人 意見総数：895件

(2) 御意見をいただいた方の属性

※ 表示単位未満を端数処理しているため，合計と一致しない場合がある。

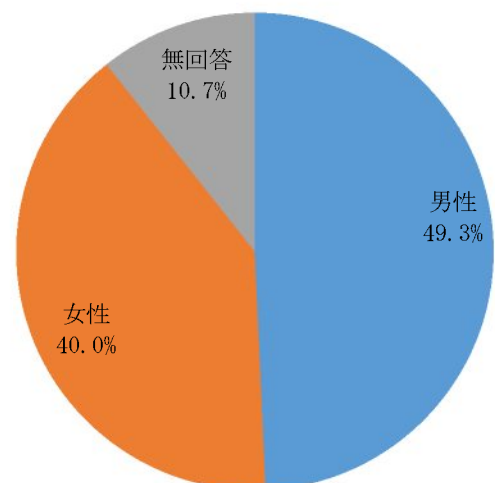
ア 年齢

年代	人数	割合
20歳未満	6人	1.2%
20歳代	14人	2.9%
30歳代	84人	17.2%
40歳代	76人	15.6%
50歳代	61人	12.5%
60歳代	86人	17.7%
70歳代	98人	20.1%
80歳代以上	9人	1.8%
無回答	53人	10.9%
合計	487人	100.0%



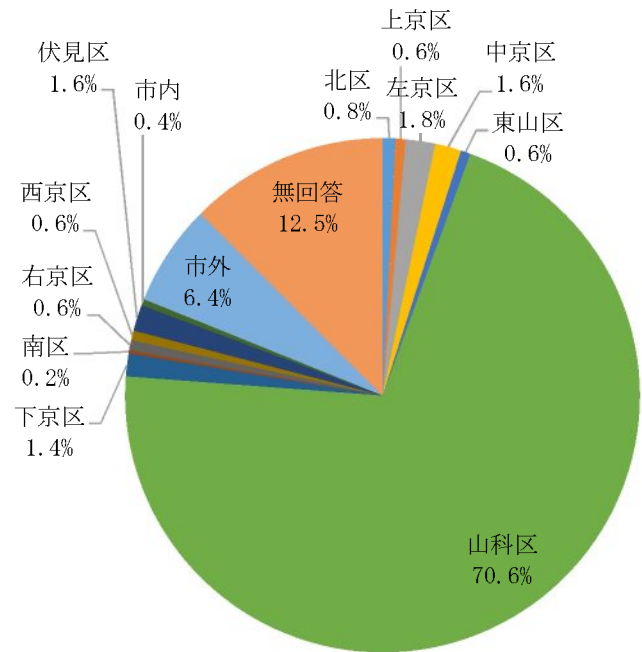
イ 性別

性別	人数	割合
男性	240人	49.3%
女性	195人	40.0%
無回答	52人	10.7%
合計	487人	100.0%



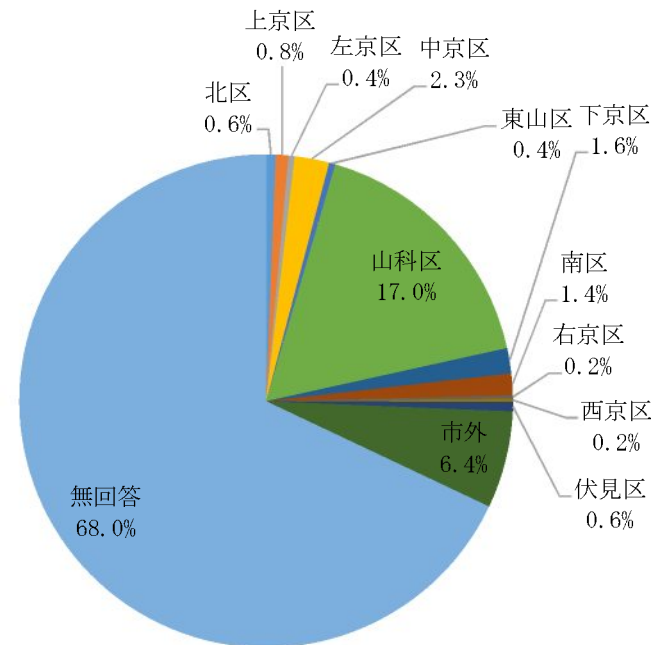
ウ 居住地

行政区等	人数	割合
北 区	4 人	0. 8 %
上京区	3 人	0. 6 %
左京区	9 人	1. 8 %
中京区	8 人	1. 6 %
東山区	3 人	0. 6 %
山科区	3 4 4 人	7 0. 6 %
下京区	7 人	1. 4 %
南 区	1 人	0. 2 %
右京区	3 人	0. 6 %
西京区	3 人	0. 6 %
伏見区	8 人	1. 6 %
市 内	2 人	0. 4 %
市 外	3 1 人	6. 4 %
無回答	6 1 人	1 2. 5 %
合計	4 8 7 人	1 0 0. 0 %



エ 勤務地

行政区等	人数	割合
北 区	3 人	0. 6 %
上京区	4 人	0. 8 %
左京区	2 人	0. 4 %
中京区	1 1 人	2. 3 %
東山区	2 人	0. 4 %
山科区	8 3 人	1 7. 0 %
下京区	8 人	1. 6 %
南 区	7 人	1. 4 %
右京区	1 人	0. 2 %
西京区	1 人	0. 2 %
伏見区	3 人	0. 6 %
市 外	3 1 人	6. 4 %
無回答	3 3 1 人	6 8. 0 %
合計	4 8 7 人	1 0 0. 0 %



(3) 御意見の内訳

区分		件数
1	戦略策定の目的	55件
2	これからの山科区のまちづくりの方向性	170件
3	まちづくりの方向性を実現するうえでポイントとなるエリアの設定	26件
4	5つのエリアの状況及び今後のエリアの方向性	611件
(内訳)	① 山科駅前エリア	28件
	② 山科団地エリア	16件
	③ 新十条通沿道エリア	7件
	④ 山科区東南部エリア	5件
	⑤ 京都刑務所周辺エリア	555件
5	戦略の推進に当たって	27件
その他		6件
合計		895件

(4) 御意見の区分

A	戦略案に反映するもの	49件
B	戦略案に記載済み又は趣旨に含まれ、賛同いただいているもの	568件
C	戦略の推進をはじめ、市政運営等で参考にするもの	278件
合 計		895件

(5) 主な御意見

全体的な傾向としては、

ア 戦略素案に賛同される方や、刑務所敷地の活用を前提にした具体的な活用案を提案・要望される方など、全体の約7割の方が肯定的であった。

イ 一方で、戦略作成や刑務所敷地の活用などに否定的な方も約1割おられた。

※ いずれも割合は人数ベース

<全 般>

肯定的な意見

- ① 刑務所が今の場所にあるのはもったいない。刑務所の移転には賛成である。
- ② 刑務所敷地の活用については、今後の山科と京都の発展、活性化に繋がるので、是非とも進めて欲しい。
- ③ 山科のイメージを変えるような活用を望む。

否定的な意見

- ① 中心エリアの活性化だけで、地下鉄から遠い周辺エリアはどうでも良いという姿勢に見える。
- ② 『刑務所敷地の活用は、民間による活用が基本』というのは、民間企業の儲け優先の考え方となっている。区民の暮らしを守る施策として欲しい。

その他

意見数は、後述する刑務所敷地の活用案に関する意見が最も多かったが、その他の多数意見としては、

- ① 戦略の「5つのエリア」以外でも、公共交通、道路、買物等の不便を改善して欲しい

- ② 山科の公共交通網の充実，歩道等の道路環境の改善，主要幹線道路の渋滞対策の充実をお願いしたい
- ③ 色んな人が山科に来て，まちが発展するように，おしゃれな店や遊べる場所が増えて欲しい
- ④ 山科の教育レベルを上げて欲しいであった。

＜刑務所敷地の具体的な活用案＞

- ① 戦略（素案）で例示している機能・施設に対する意見

大学等の教育施設を望む意見が最も多く，次いで，商業施設と公園・ひろばを望む意見が多くなっている。

一方で，商業施設や公園については不要とする意見も複数見られる。

（参 考）

刑務所敷地の活用案として戦略（素案）で例示している機能・施設

- ・ 大学等の教育施設
- ・ 商業施設
- ・ 防災機能を備えたオープンスペース
- ・ 研究機関・企業
- ・ 文化・ものづくりの体験・交流・発信施設
- ・ 子育て支援・福祉施設
- ・ 良質な住宅

- ② 戦略（素案）で例示している機能・施設以外で寄せられた主な機能・施設

- ・ スポーツ施設
- ・ 図書館，区役所などの公共施設を集約し，区民の利便性を高める施設
- ・ ホテル
- ・ ベンチャー企業等を支援する施設
- ・ スーパー銭湯など温泉施設
- ・ 地下駐車場を備えた公共交通のターミナル
- ・ 遊園地
- ・ IR（統合型リゾート）

京都刑務所敷地の活用を核とする未来の山科のまちづくり戦略(素案)に関する
市民意見募集に寄せられた主な御意見と御意見に対する本市の考え方

(参考)区分について

A 戦略案に反映するもの

B 戦略(素案)に記載済み又は趣旨に含まれ、賛同いただいているもの

C 戦略の推進をはじめ、市政運営等で参考にするもの

1 戦略策定の目的

NO	意見要旨	件数	区分	本市の考え方
1	戦略全般について賛成である。	35	B	京都刑務所敷地の有効活用に向けて、引き続き、国に移転をはじめとする有効活用の検討を要望するとともに、京都刑務所敷地の活用を核として山科・京都の発展につながる戦略を策定し、取組をしっかりと進めてまいります。
2	50年、100年先の山科に繋がるものにつくり上げて欲しい。	1	B	
3	刑務所敷地の活用を核とするまちづくり戦略に賛成。子どもを生き育てたいと思えるまちにして欲しい。	1	B	
4	刑務所移転について、まちづくりの観点から京都市にもっと頑張ってもらいたい。	1	B	
5	山科のイメージを変えるために、刑務所敷地で大きなプロジェクトができそうな気がするので、行政主導で今から考えなければならない。	1	B	
6	山科の将来見通しを踏まえると、少なくとも何か手を打つべき時期にきていると思うので、刑務所敷地を活用しようという市の考えに賛同する。	1	B	
7	国有地の活用は推進して欲しい。	1	B	
8	京都刑務所に加えて、国立京都博物館や京都大学などの官有地も有効活用すべきである。	1	C	国有地の有効活用の検討については、土地面積が一定の規模があり、立地条件が良く、その土地を活用することが、立地する地域に加え、京都や近畿の将来のまちづくりに寄与する国有地を対象に、長期的な展望に立って、将来のまちづくりに資する有効活用の検討を進めています。 このような考えから、現在、京都刑務所、京都拘置所及び京都運輸支局を対象に取組を進めていますが、今後、国有地の有効活用の検討を進めるうえで参考にさせていただきます。
9	全国の刑務所の収容率が下がっているので、刑務所の統合など、国にも思い切った決断をしてもらいたい。	1	C	国の矯正施設のあり方に関わる御意見であるため、本市の考えをお示しすることは差し控えさせていただきますが、引き続き、国に要望していくなかで、参考にさせていただきます。
10	刑務所があることの治安面や教育面などの課題を明確に記載しないと説得力がない。	1	C	刑務所は国の矯正行政において必要な施設であると考えておりますが、京都刑務所は、山科のほぼ中心部に、広大な面積を有し、交通利便性も高いなど、その敷地の活用は、将来の山科・京都の発展に向けて大きく寄与するものと確信しており、有効活用に向けた取組を進めているものです。
11	刑務所の跡地活用については、京都市と法務省の間でより具体的な内容を議論して欲しい。	1	B	引き続き、国に対して、刑務所の移転をはじめとする有効活用の検討を要望してまいります。
12	まちづくりの戦略のための懇談会で本当に山科区の未来を考えているのか疑問である。	1	C	「山科の未来を語る懇談会」は、都市計画をはじめとする有識者に加えて、地元山科の経済界や大学、山科区内の全13学区自治連合会会長の代表・副代表の皆様で構成し、本市が戦略を策定するに当たって、山科の現状や将来見通しを踏まえ、専門的見地及び市民の立場から、山科・京都の発展に向けた幅広い意見・助言を頂くために設置しているものです。
13	大型民間施設(投資)主義は信用できないし、区民の日常の暮らしを守る施策とは全く逆の考え方になっているので、戦略案に反対する。	1	C	10.7haもの広大な土地を有し、地下鉄御辻駅から徒歩5分という交通至便な場所にある京都刑務所の敷地は、今日では、市内の都市部では確保することが難しい、非常に貴重な土地であり、その有効活用は、山科はもとより、京都全体の持続的な発展に大きく寄与するものであり、有効活用の実現に向けて取り組んでいくことが重要であると考えています。
14	誰のための「国有地の有効活用」なのか。貧困や格差、医療や介護への不安等について検討されない、民間の儲けのための戦略策定には反対する。	1	C	こうした考えの下、引き続き、国に対して、刑務所の移転をはじめとする有効活用の検討を粘り強く要望してまいります。

京都刑務所敷地の活用を核とする未来の山科のまちづくり戦略(素案)に関する
市民意見募集に寄せられた主な御意見と御意見に対する本市の考え方

1 戦略策定の目的

NO	意見要旨	件数	区分	本市の考え方
15	刑務所敷地の活用が核となっていること、交通整備や防災が盛り込まれていないこと、設定されたエリア以外の方向性も示されていないことなどから反対する。	1	C	そして、このような広大な面積を有する京都刑務所の敷地の魅力を最大限に引き出すためには、民間の知恵と工夫を活かしながら活用することが望ましいと思われるため、民間による活用が基本であると考えています。 また、本戦略に掲げる刑務所敷地の活用をもって、山科の様々な課題がすべて解決できるとは考えておりません。周辺地域を含め、区民の皆様が安心して暮らせるまちづくりのため、福祉、交通、道路その他様々な課題については、本戦略や山科区基本計画の推進など、市政運営等を行うなかで検討してまいります。
16	区民の暮らしを考えない戦略策定には反対である。移転に伴う支出や工事、働いている人達のことを考えると心配であり、戦略策定よりも医療や介護等に税金を使ってほしい。	1	C	
17	刑務所の移転時期が分からないため、刑務所敷地を核としたまちづくりに期待できない。敷地が開発されても、大手商業資本の「一人勝ち」となり、地元の企業や商店街が衰退してしまうのではないかと。まちづくりは住民が主人公であり、住民の暮らしが安心安全で豊かになることが目的でなければならない。戦略の根本から考え直して欲しい。	1	C	
18	刑務所敷地に関する区民アンケート結果は、本当に過半数の賛成があったとは思えない。区民が不安に感じていることの解消に努めて欲しい。刑務所の移転は30年くらい後に考えるのが良いと思うので、戦略の推進には反対する。	1	C	
19	刑務所が山科の発展を阻害しているかのような戦略策定には反対である。	1	C	刑務所は国の矯正行政において必要な施設であると考えておりますが、10.7haもの広大な土地を有し、地下鉄柳辻駅から徒歩5分という交通至便な場所にある京都刑務所の敷地は、今日では、市内の都市部では確保することが難しい、非常に貴重な土地で、その有効活用は、山科はもとより、京都全体の持続的な発展に大きく寄与するものであり、有効活用の実現に向けて取り組んでいくことが重要であると考えています。
20	拙速なやり方で、区民のほとんどは知らないし、合意形成が不十分であり、このような戦略の決定には反対である。	1	C	本戦略は、学識経験者や地元経済界、地元大学、地域の代表者等で構成する「山科の未来を語る懇談会」及び山科区内の全13学区の会長の皆様への「説明会」での御意見や、今般の市民意見募集で頂いた御意見などをもとに作成することとしております。 また、本戦略の推進に当たっては、まちづくりの主体となる市民、事業者、大学、行政等が本戦略を共有し、意見を交わしながら、適切な役割分担のもとに、関係者との協働で、知恵と力を出し合いながら進めてまいります。
21	先日、京都市歩くまち京都推進室からアンケートがきたが、「未来の山科のまちづくり戦略」と対内容が矛盾している。山科の実情を知ったうえで、両者で話し合い、本気の「山科づくり」が必要だと思う。	1	C	歩くまち京都推進室からのアンケートは、区民の皆様の公共交通の利用促進を図るためのモビリティマネジメント(1人1人の移動が、過度な自動車利用から公共交通等を適切に利用することへの変化を促すコミュニケーションを中心とした交通政策)の一環で実施したもので、山科区の公共交通の充実、ひいては本戦略に掲げる山科の目指す姿『住んで、働いて、訪れて、楽しく美しいまち・山科』の実現に繋がる取組です。 引き続き、本戦略に掲げる目指す姿の実現に向けて、関係課と連携しながら取り組んでまいります。

京都刑務所敷地の活用を核とする未来の山科のまちづくり戦略(素案)に関する
市民意見募集に寄せられた主な御意見と御意見に対する本市の考え方

2 まちづくりの方向性

NO	意見要旨	件数	区分	本市の考え方
22	子どもからお年寄りまでの様々な世代が住んで、楽しく美しいまちであって欲しい。	4	B	本戦略では、山科のまちの目指す姿を「住んで、働いて、訪れて、楽しく美しいまち・山科へ！」とし、これを実現するためのまちづくりの方向性として「若者から高齢者まであらゆる世代が住みよいまち・コミュニティの維持」などを掲げています。こうした方向性でまちづくりを進めてまいります。
23	区内のどの地域に住んでも安心して生活できるまちづくりを望む。	10	B	
24	高齢者を含む様々な階層にとって暮らしやすく、「住んで」楽しく美しいまちが理想である。	1	B	
25	高齢者、障がいのある方、母子家庭、一人暮らし、外国人など、誰にもやさしいまちづくり(みんな違っていいまち)を目指すとともに、貧困等の負の連鎖を断ち切る視点が必要である。	1	B	
26	区内は高齢者が多く、敬老乗車証を充実させるなど「住んでよかった山科」でなく「長生きしてよかった山科」となるべきである。	1	C	
27	「こども食堂」や「カフェ」、「レストラン」を支える上で、高齢者の潜在能力を活用できると思う。	1	C	
28	地下鉄ができて便利になったが、代わりにバスが減り、子どもやお年寄りが使える公園、施設が少なくなった気がする。住み良い、やさしい町にしたい。	1	C	
29	子どもやお年寄りが安心して過ごせる公園や手軽に利用できる文化施設が少ない。サークル活動や住民の行事が手軽にできるような文化施設や安く借りられる会場があればうれしい。	1	B	
30	単身高齢者対策などの福祉の充実や、「住民のコミュニティの場」づくりなど、山科が終の住まいと思えるような、暮らしやすい山科のまちづくりを山科の住民が中心に考え計画することを望む。	3	C	
31	「貧困と格差」、「医療や介護の不安」「道路」問題等、住民の暮らしを考えてもらいたい。住民の思いからほど遠いまちづくりには反対である。	1	C	
32	何も決まっていない刑務所敷地の活用でなく、山科に数多く残る自然を生かす「住民の福祉の向上」という自治体本来の立場から検討してほしい。	1	C	本戦略では、山科のまちの目指す姿を「住んで、働いて、訪れて、楽しく美しいまち・山科へ！」とし、これを実現するためのまちづくりの方向性として「若者から高齢者まであらゆる世代が住みよいまち・コミュニティの維持」などを掲げています。本戦略や、交通・都市基盤面、保健福祉面をはじめとする山科のまちづくりの総合計画である山科区基本計画の推進など、市政運営等を行うなかで参考にさせていただきます。
33	子育て、医療や介護への不安があるので、まずはこれらの議論が必要である。	1	C	
34	今住んでいる人が住み続けやすいまちになるよう、交通不便の解消、買い物や交流ができる場所、各学区に区役所や図書館機能を設置、災害避難所の改善、過密状態の児童館の改善、小中学校校舎の改修などをやるべきである。	1	C	空き家の増加は課題であると考えており、関係部署と連携し、引き続き、空き家対策に取り組んでまいります。
35	まちづくりの方向性では、周辺地域の対応や、図書館など公共施設の充実も考えて欲しい。また、地産地消の観点から近郊農家を大切にすべきである。	2	C	
36	地域に空き家があって困っている。	1	C	本戦略の推進など、市政運営等を行うなかで参考にさせていただきます。
37	介護しながら働くことは難しいので、介護手当をつくってもらえないか。	1	C	
38	結婚する人を増やすためにも、正社員を増やす取り組みを進めて欲しい。	1	C	非正規雇用率の割合が高いことは課題であると考えており、労働行政を担う国や府との緊密な連携の下、引き続き、正規雇用化の促進に向けた取組を進めてまいります。

京都刑務所敷地の活用を核とする未来の山科のまちづくり戦略(素案)に関する
市民意見募集に寄せられた主な御意見と御意見に対する本市の考え方

2 まちづくりの方向性

NO	意見要旨	件数	区分	本市の考え方
39	歩道など、道路環境を改善して欲しい。	10	A	本戦略では、山科のまちの目指す姿を「住んで、働いて、訪れて、楽しく美しいまち・山科へ！」とし、これを実現するためのまちづくりの方向性として「若者から高齢者まであらゆる世代が住みよいまち・コミュニティの維持」などを掲げています。 本戦略「2. これからの山科区のまちづくりの方向性」に「道路、交通などの生活利便性の向上を図ること」を明記し、本戦略や、観光面や交通・都市基盤面をはじめとする山科のまちづくりの総合計画である山科区基本計画の推進など、市政運営等を行うなかで検討してまいります。
40	国道1号線や新十条通から滋賀県へ抜けるバイパスを整備し、渋滞緩和を図って欲しい。	2	B	本戦略では、山科のまちの目指す姿を「住んで、働いて、訪れて、楽しく美しいまち・山科へ！」とし、これを実現するためのまちづくりの方向性として「若者から高齢者まであらゆる世代が住みよいまち・コミュニティの維持」などを掲げています。本市も参加する「滋賀・京都間の新しい国道1号バイパス建設促進期成同盟会」により、今後とも国に要望してまいります。
41	大規模災害時の避難経路の確保などの観点から、山科川、旧安祥寺川の両岸に自動車道を整備してはどうか。	1	C	本戦略の推進など、市政運営等を行うなかで参考にさせていただきます。
42	山科区内は私道が多く、道路修繕依頼にも応えてもらえないことがあるので、公道転換を強力的に推進してもらいたい。	1	C	
43	山科区内における生活道路の拡幅整備に向けて、国により道路事情の改善をゼロベースで強力的に推進してはどうか。	1	C	
44	狭い道にある電柱と街灯・標識の一本化や電線類地中化を早くして欲しい。	2	C	
45	ロードプライシング(通過車両への課金)を財源に道路整備するのが適切である。	1	C	
46	山科区内の渋滞緩和と公共交通機関利用促進のため、「マイカー持ち込み税」を課すことを検討してはどうか。	1	C	
47	国道1号と外環状線、三条通といった主要幹線道路の渋滞対策を進めてもらいたい。	8	A	本戦略では、山科のまちの目指す姿を「住んで、働いて、訪れて、楽しく美しいまち・山科へ！」とし、これを実現するためのまちづくりの方向性として「若者から高齢者まであらゆる世代が住みよいまち・コミュニティの維持」などを掲げています。 本戦略「2. これからの山科区のまちづくりの方向性」に道路、交通などの生活利便性を向上させながら、まちづくりを進めることを明記し、本戦略や、山科の観光面や交通・都市基盤面をはじめとする山科のまちづくりの総合計画である山科区基本計画の推進など、市政運営等を行うなかで、京都府警察等の関係機関や地域の皆様と連携しながら、検討してまいります。
48	外環と新十条通りの駐車車両の取り締まり強化、歩道の拡幅について検討してほしい。	1	C	本戦略の推進など、市政運営等を行うなかで参考にさせていただきます。

京都刑務所敷地の活用を核とする未来の山科のまちづくり戦略(素案)に関する
市民意見募集に寄せられた主な御意見と御意見に対する本市の考え方

2 まちづくりの方向性

NO	意見要旨	件数	区分	本市の考え方
49	山科区は、高速のICがあり、JRと地下鉄も通る、大変便利な街で、人が集まるポテンシャルは絶大である。バリアフリーの充実など、もっと高齢者にやさしいまちづくりを進めてほしい。	3	C	本戦略では、山科のまちの目指す姿を「住んで、働いて、訪れて、楽しく美しいまち・山科へ！」とし、これを実現するため、今の山科の持つ魅力を活かすとともに、京都刑務所敷地の活用をはじめ、次代の山科の魅力を創り出すまちづくりを進めていくこととしており、本戦略の推進など、市政運営等を行うなかで、バスや鉄道事業者の意見も聞きながら検討してまいります。
50	バスの本数が少なく、地下鉄沿線以外の周辺部は不便になった。公共交通を充実してほしい。	5	A	本戦略では、山科のまちの目指す姿を「住んで、働いて、訪れて、楽しく美しいまち・山科へ！」とし、これを実現するためのまちづくりの方向性として「若者から高齢者まであらゆる世代が住みよいまち・コミュニティの維持」などを掲げています。本戦略や、山科の観光面や交通・都市基盤面をはじめとする山科のまちづくりの総合計画である山科区基本計画の推進など、市政運営等を行うなかで、バスや鉄道事業者の意見を聞きながら検討してまいります。
51	交通問題についても検討してもらいたい。	5	A	また、本戦略「2. これからの山科区のまちづくりの方向性」に道路、交通などの生活利便性の向上を図ることを明記します。
52	住民の利便性の向上や観光推進の観点から、山科の公共交通網を充実して欲しい。	11	A	
53	山科区のどこからでも区役所、地下鉄の駅へ1本のバスで行ける循環式路線バスを望む。	3	A	
54	地下鉄の出入口や改札口が少ないので改善してほしい。	3	C	地下鉄の改札口については、昭和56年に開業した烏丸線北大路～京都駅間の建設時は、原則、2箇所としておりましたが、平成2年の北山～北大路駅間の開通以降、原則、駅務室に隣接する1箇所に集約してきました。東西線でもこの考え方から改札口を1箇所とし、出入口や駐輪場へのアクセス等を総合的に勘案した結果、現在の位置に配置しているものです。 また、山科駅の出入口につきましては、交通局が所管する5番出入口のほか、JR山科駅、京阪山科駅や、隣接するビルにつながる出入口2箇所の計5箇所の出入口があります。出入口の増設については、用地の確保や建設のために、さらに多額の費用がかかることとなり、現在の交通局の厳しい財政状況では困難です。 このような状況ではございますが、いただいたご意見につきましては、今後の地下鉄事業の運営等のなかで参考にさせていただきます。
55	京都東ICから新十条通へのアクセスを容易にし、交通の流れを分散させてほしい。	1	C	本戦略の推進など、市政運営等を行うなかで参考にさせていただきます。
56	新十条通、外環状線の大通りにある商業施設を公共交通機関を使って利用できるように充実してほしい。	1	C	
57	安心して住めるまちづくりを進めて欲しい。	6	B	本戦略では、山科のまちの目指す姿を「住んで、働いて、訪れて、楽しく美しいまち・山科へ！」とし、これを実現するためのまちづくりの方向性として「若者から高齢者まであらゆる世代が住みよいまち・コミュニティの維持」などを掲げています。また、山科区基本計画に基づき、災害に強い都市構造を目指すまちづくりや、みんなにやさしいまちづくりを進めています。引き続き、安心を実感していただけるまちづくりを進めてまいります。
58	避難場所を整備し、災害に強いまちづくりと各施設のバリアフリーを充実してほしい。	1	B	
59	市民が楽しめる公園を中心にまちづくりを進め、安心安全で、心身を休めるまちにしてほしい。	1	C	山科は、水と緑の豊かな自然に囲まれたまちという魅力があり、本戦略ではこの魅力を活かしながら、京都刑務所敷地の活用をはじめ、時代の魅力を創りだすまちづくりを進めることにしています。また、山科区基本計画において、「うるおい・自然を大切に」という基本方針を示しており、引き続き、水と緑の潤いに満ちた都市環境・生活環境をつくっていくよう取り組んでまいります。
60	川や自然のことも考えたまちづくりを望む。	1	B	

京都刑務所敷地の活用を核とする未来の山科のまちづくり戦略(素案)に関する
市民意見募集に寄せられた主な御意見と御意見に対する本市の考え方

2 まちづくりの方向性

NO	意見要旨	件数	区分	本市の考え方
61	「住んでいてよかった、ずっと住み続けたい」と思える山科にするために、住民の声を聞きながらまちづくりを進めて欲しい。	1	B	本戦略は、行政が主として取り組むものもありますが、行政だけで全てを実現できるものではなく、まちづくりの主体となる市民、事業者、大学、行政等で本戦略を共有し、適切な役割分担のもとに、関係者との協働で、知恵と力を出し合いながら、魅力あふれる山科のまちづくりを進めてまいります。
62	若い人に来てもらえるように山科駅前や刑務所敷地の活用を進めてもらいたい。	2	B	本戦略では、山科のまちの目指す姿を「住んで、働いて、訪れて、楽しく美しいまち・山科へ!」とし、これを実現するため、今の山科の持つ魅力を活かすとともに、山科駅前エリアの活性化や京都刑務所敷地の活用をはじめ、次代の山科の魅力を創り出すまちづくりを進めてまいります。
63	いろんな人が山科に来て、まちが発展するように、おしゃれなお店や遊べる場所が増えて欲しい。	8	B	本戦略では、山科のまちの目指す姿を「住んで、働いて、訪れて、楽しく美しいまち・山科へ!」とし、これを実現するため、今の山科の持つ魅力を発信しながら活かすとともに、京都刑務所敷地の活用をはじめ、次代の山科の魅力を創り出すまちづくりを進めることとしています。本戦略や、山科の観光面や交通・都市基盤面をはじめとする山科のまちづくりの総合計画である山科区基本計画の推進など、市政運営等を行うなかで検討してまいります。
64	山科に利用料が安く、老人、子どもなどが集まれる安心で楽しい場所を充実して欲しい。	1	B	
65	地下鉄に乗るシリーズの小野ミサさんに協力してもらうなど、デジタルスタンプラリーを通して地域の魅力発見に繋げるのはどうか。	1	C	
66	観光客を呼び込むために、歴史的建造物、寺社仏閣、史跡等の魅力を発信すべきである。	4	B	
67	山科七郷の歴史継承も忘れてならない。	1	B	
68	琵琶湖疏水は、観光資源としてのポテンシャルが非常に高いため、沿線歩いて楽しくなるような仕掛けがあれば、山科を訪れる大きな誘引となり得るのではないか。	1	B	本戦略では、山科のまちの目指す姿を「住んで、働いて、訪れて、楽しく美しいまち・山科へ!」とし、これを実現するため、今の山科の持つ魅力をしっかり発信しながら活かすとともに、京都刑務所敷地の活用をはじめ、次代の山科の魅力を創り出すまちづくりを進めることとしています。
69	奈良街道、渋谷街道などの遊歩道を、廃棄物を活用した再生レンガを敷き詰めるなどの工夫により、観光資源として活用してはどうか。	1	C	「びわ湖疏水船」事業や疏水沿線の周遊を促すコンテンツ開発、東山自然緑地の再整備等と有機的に連携しながら、山科疏水や旧街道など、山科の魅力を感じていただけるよう、本戦略や、山科の観光面や交通・都市基盤面をはじめとする山科のまちづくりの総合計画である山科区基本計画の推進など、市政運営等を行うなかで参考になさせていただきます。
70	山科本願寺跡について、国の史跡として確認されている場所や史跡としての保存手続きの検討を講じてみてはどうか。	1	C	
71	旧東海道を復活してほしい。	1	C	
72	新十条トンネルを活用した観光ルートを作成して欲しい。	1	C	
73	東京に集中している国の機関を山科区内に設置させ、山科区内を住宅地、官公庁、商業地域等の区画を計画的に進めていくのはどうか。	1	C	
74	外環状線の名称を栂辻通とし、山科区の知名度を上げてほしい。	1	C	
75	業者が森の西斜面でぶどうを栽培・醸造し、小町ワインを山科の特産品にしてはどうか。	1	C	
76	疏水を南に新しく分流させ、伝説の用水路を模した落差の大きい人工滝を観光名所にしてはどうか。	1	C	
77	著名人の住居・庭園を復元してはどうか。	1	C	
78	山科のPRのために、スマホに向けた画面に古の風景が見えるなど、山科の昔をバーチャル体験できるようにしてはどうか。	1	C	
79	リニアが山科を通過するように誘致してはどうか。	1	C	リニア中央新幹線は新たな国土軸を形成するものであり、本市は、「東京・大阪間の早期開業」、「関西国際空港への延伸」、「京都駅ルート」の実現に向け、京都府、経済界等と連携し、オール京都で積極的な誘致活動を展開しています。本取組を推進していく中で、参考になさせていただきます。
80	山科区全域の景観規制や高さ規制を見直し、超高層ビル・マンションの建造を可能にして欲しい。	1	C	現在、持続的な都市構造も踏まえた新景観政策の新たな展開について議論を進めており、参考にさせていただきます。
81	山科が発展するために、高さや景観の規制の見直し等、思い切ったことをやって、京都の新都心にして欲しい。	2	C	

京都刑務所敷地の活用を核とする未来の山科のまちづくり戦略(素案)に関する
市民意見募集に寄せられた主な御意見と御意見に対する本市の考え方

2 まちづくりの方向性

NO	意見要旨	件数	区分	本市の考え方
82	山科の治安が悪いイメージを払拭し、イメージを良くして欲しい。	4	B	本戦略では、山科のまちの目指す姿を「住んで、働いて、訪れて、楽しく美しいまち・山科へ!」とし、これを実現するため、今の山科の持つ魅力をしっかり発信しながら活かすとともに、京都刑務所敷地の活用をはじめ、山科のまち全体のイメージを大きく変革する、新しい魅力を創造することとしており、しっかりと取組を進めてまいります。
83	今の山科は、住宅地、商業施設、農地等が混在し、道路事情も悪い。将来は、「和」のコンセプトを貫き、自然と利便性のバランスがとれた住みやすいまちになって欲しい。	1	C	本戦略など、市政運営等を行うなかで参考にさせていただきます。
84	市の施設を地元市民が格安で利用できるようにしてほしい。	1	C	
85	名神バス停跡に巨大バスターミナルを造り、パーク&ライドで観光客を地下鉄駅へ誘導してはどうか。	1	C	
86	100年くらい先を見据え、区画整理による道路の整備や、高さ規制の全廃、狭小住宅の新築規制など、思い切った政策を望む。	1	C	
87	保育園をたくさん作ってほしい。	1	C	本戦略では、山科のまちの目指す姿を「住んで、働いて、訪れて、楽しく美しいまち・山科へ!」とし、これを実現するためのまちづくりの方向性として「子育て世代など新たな定住者を呼び込むまちづくり」などを掲げています。本戦略や、保健・福祉・子育て支援面をはじめとする山科のまちづくりの総合計画である山科区基本計画の推進など、市政運営等を行うなかで検討させていただきます。
88	若い層の定住を促すために子育て支援等に力を注いで欲しい。	2	B	
89	子育てしやすく、若者が生活しやすいまちにしてほしい。	1	B	
90	楽しく安心して子育てできる環境を望む。	1	B	
91	子どもが生き生きと暮らし、遊べるような安全、安心なまちになって欲しい。	2	B	
92	子どもや若い世代が増えるシステムができてほしい。	1	B	
93	区民(特に子ども)が集える魅力的なまちづくりを望む。	1	B	
94	「今住んでいる住民」の視点として、「教育向上と生涯学習の重要性」を盛り込んでもらいたい。	1	B	本戦略では、山科のまちの目指す姿を「住んで、働いて、訪れて、楽しく美しいまち・山科へ!」とし、これを実現するためのまちづくりの方向性として「子育て世代など新たな定住者を呼び込むまちづくり」を掲げ、教育環境の向上も取り組むこととしており、本戦略の推進など、市政運営等を行うなかで参考にさせていただきます。
95	若者が夢を持てる住みよいまちづくりと教育レベルの高いまちづくりを求める。	1	B	
96	教育レベルをもっと高めてほしい。	1	B	
97	子育て世帯は、治安、学力、保育園の入りやすさ、都市部へのアクセスなどを気にする。御所南学区を目指してほしい。	1	B	
98	教育水準を高め、若い世帯など他区からの定住者を呼び込むために、小中一貫の公立進学校を設置してほしい。	2	C	
99	2045年には高齢化率が43%と予測されており、大変危惧しているので、御所南小学校のような、若い人が住もうと思うような山科区ならではのブランドを作してほしい。	1	B	
100	小学校の教師不足により教師が疲弊している。	1	C	
101	教育環境向上のため、小学校のトイレをきれいにしてほしい。	1	C	
102	山科区内にベンチャー等の企業を誘致して働き手を増加させることで、その周辺が賑わい、経済効果を生むようにしてほしい。	1	B	本戦略では、山科のまちの目指す姿を「住んで、働いて、訪れて、楽しく美しいまち・山科へ!」とし、これを実現するためのまちづくりの方向性として「子育て世代など新たな定住者を呼び込むまちづくり」を掲げ、今以上に雇用の場を生み出すこととしており、本戦略の推進など、市政運営等を行うなかで検討してまいります。
103	京都市の子ども医療費について、通院時一部負担金の年齢枠を広げてほしい。	1	C	本戦略の推進など、市政運営等を行うなかで参考にさせていただきます。

京都刑務所敷地の活用を核とする未来の山科のまちづくり戦略(素案)に関する
市民意見募集に寄せられた主な御意見と御意見に対する本市の考え方

2 まちづくりの方向性

NO	意見要旨	件数	区分	本市の考え方
104	山科は、にぎやかになっているので楽しんでもらいたい。	1	B	本戦略では、山科のまちの目指す姿を「住んで、働いて、訪れて、楽しく美しいまち・山科へ!」とし、これを実現するため、今の山科の持つ魅力を活かすとともに、京都刑務所敷地の活用をはじめ、次代の山科の魅力を創り出すまちづくりを進めていくこととしており、しっかり取り組んでまいります。
105	京都市のまちづくり方針の中での山科区の位置付けを明確にして欲しい。	1	B	市民意見募集の冊子にありますように、山科は、1400年を超える歴史と豊かな自然に恵まれ、住民自治の伝統が脈々と受け継がれ、人と人のつながりがとても温かい、安心安全なまちであるといった魅力に溢れています。市民意見募集の冊子では概要のみを載せていましたが、最終的なまちづくり戦略には、人口や事業所数などの様々なデータを全行政区と比較したグラフ等を用いて、山科区の特徴等をお示しします。
106	まち美化を目指し、美しいまちづくりを目指し街を活性化してほしい。	1	A	山科は、水と緑の豊かな自然に囲まれたまちという魅力があり、本戦略ではこの魅力を活かしながら、京都刑務所敷地の活用をはじめ、次代の魅力を創り出すまちづくりを進めることにしています。また、山科区基本計画では、「うるおい・自然を大切にす
107	美しいまちにするためにどうするか、素案で触れられていない。	1	A	る」、「ごみを減らし、まちをきれいにする」という基本方針を示しており、引き続き、市民や事業者の皆様とともに、美しい山科のまちづくりを進めてまいります。また、本戦略には、「2. これからの山科区のまちづくりの方向性」に、山科が豊かな自然に恵まれていること、こうした良さを守りながら、美しいまち並みを保全・創造することを盛り込みます。
108	家屋や電柱に町名地番表示をしたり、名無しの交差点や道路にも適切な名称を付与することが望ましい。	1	C	本戦略では、山科のまちの目指す姿を「住んで、働いて、訪れて、楽しく美しいまち・山科へ!」とし、これを実現するためのまちづくりの方向性として「若
109	山科は都市と農が混在した地域開発を願う。	1	C	者から高齢者まであらゆる世代が住みよいまち・コミュニティの維持」などを掲げています。本戦略や、交通・都市基盤面、保健福祉面をはじめとする山科のまちづくりの総合計画である山科区基本計画の推進など、市政運営等を行うなかで参考にさせていただきます。
110	山科駅から外環状線の道並が夜になると暗くてとても寂しい。ぼんぼり並木にしてはどうか。	1	C	本戦略の推進など、市政運営等を行うなかで参考にさせていただきます。
111	建物を規制し、緑や住宅地を壊さないゆとりのある発展を考えて欲しい。	1	C	
112	生活道路の拡幅整備に協力しない地権者に対しても、固定資産税、都市計画税を1年ごとに倍ずつ上げることにより用地提供を促す施策を進めてはどうか。	1	C	
113	山科地区は治安が悪いため、治安回復に取り組んでほしい。	1	C	京都市では、市民や観光旅行者等が安心して生活し、滞在することができるよう「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動」を全行政区において展開し、進めております。山科区基本計画では、「地域ぐるみで暮らしの安全を守る」という基本方針を掲げ、区民、事業者の皆様や区役所・警察署等の関係機関で構成する同運動の「区推進組織」を設置して、地域の防犯や生活安全対策に関する様々な取組を実施しております。現在、現在、山科の人口千人当たりの刑法犯認知件数は、全市で2番目に少ない安心安全のまちであり、引き続き、安心を実感していただけるまちづくりを進めてまいります。

京都刑務所敷地の活用を核とする未来の山科のまちづくり戦略(素案)に関する
市民意見募集に寄せられた主な御意見と御意見に対する本市の考え方

3 エリアの設定

NO	意見要旨	件数	区分	本市の考え方
114	「京都市持続可能な都市構築プラン(仮称)」で挙げられた地域分類においては、山科駅前を地域中核拠点エリアから広域拠点エリアに位置付け、山科前から京都刑務所にかけての地域を京都市の東の学術文化・交流・創造ゾーンとして整備する方針とする必要がある。	1	C	「京都市持続可能な都市構築プラン(仮称)」(素案)において、山科駅については、市内周辺部における定住人口の求心力の役割を担い、子育て期をはじめ、それぞれのライフステージに応じた必要な都市機能の効率的な利用ができる地域中核拠点エリアに位置づけています。また、当該プランでは学術文化・交流・創造ゾーンについては、あらかじめ具体的な場所を定めていますが、頂いた御意見は、本戦略の推進など、市政運営等を行うなかで、参考にさせていただきます。
115	5つのポイントとなるエリアの設定は的確と感じる。山科区はアクセス性に優れており、もっと発展して欲しい。	1	B	5つのエリアにおいて、本戦略でお示ししているエリアの方向性に沿ったまちづくりを進めるとともに、山科区基本計画に基づき、区の実現に向けて区内全域で進められている取組とも連携することで、山科を一層魅力あふれるまちにしていきたいと思います。
116	エリアの設定に、忠臣蔵に深く関係している寺社が集まり、阪神高速からも近い「西野山寺社群エリア」を加えて欲しい。	1	C	山科の将来予測を踏まえ、子や孫の世代になっても、山科が活力に満ちた魅力的なまちであるために、本戦略では、「住んで、働いて、訪れて、楽しく美しいまち・山科へ！」を目指す姿として掲げ、この達成に向けて、3つの方向性に沿って、まちづくりを進めていこうと考えています。そうしたまちづくりを進めるうえでポイントとなる、象徴的なエリアとして5つのエリアを設定していますが、5つのエリア以外を含めた山科区全般の発展に向けて、現在、山科区基本計画に基づき、区内で様々な取組が進められています。こうした取組とも連携するとともに、道路・交通などの生活利便性を向上させながら、山科全体を一層魅力あふれるまちにしていきたいと考えています。
117	エリアの設定に、京都の東の道路拠点である名神高速道路東インター付近を「⑥山科東北部周辺のエリア」として追加して欲しい。	1	C	
118	エリアの設定は、地下鉄沿線だけでなく、周辺地域の足の確保、買物難民や医療難民への対応など、周辺の過疎化対策も検討して欲しい。	2	C	
119	5つのエリアだけでなく、エリア外でも、道路、交通や買物が不便であるなどの問題への対応を望む。	6	C	
120	限定されたエリアの活性化で山科全体の課題が解決するとは思えないし、5つのエリア以外でも、子育て環境整備、交通、買い物、それぞれの世代の居場所づくりなどが求められている。区民のほとんどが、この素案を知らないし、区民にかみ合っているとは思えない。現状の素案には反対である。	1	C	
121	エリア設定により、エリア外の住民の生活が、不便で、災害対策もおざなりにされるようなことがあってはならない。	3	C	
122	エリアを限定せず、5つのエリアから外れている地域のまちづくりの方向性についても検討して欲しい。	3	C	
123	エリア設定をして開発することで、山科が活性化するか疑問であり、どこに住んでいても暮らしを支える施策を、行政の仕事として進めて欲しい。よって、戦略に反対する。	1	C	
124	刑務所も農地もまるで無駄なものと決めつけているような印象を受け、5つのエリア以外はどうでもよいという姿勢が見えるので反対である。	1	C	
125	将来、新十条通が滋賀県まで貫通すると想定すれば、柳辻地域を中心としたまちづくり構想を進めるのが良い。	1	C	山科区では、大きなにぎわい拠点として山科駅周辺が挙げられますが、京都高速道路新十条通の無料化や刑務所敷地の有効活用により柳辻駅周辺を一層活性化し、山科駅周辺と柳辻駅周辺との間で人の流れを生み出し、人々が交流することで、まちや人が生き生きし、山科の活性化に繋げることができると考えております。本戦略をしっかりと進めてまいります。
126	山科駅周辺エリアの活性化だけでなく、新十条通の無償化とも合わせて、刑務所敷地を活用することで、柳辻駅周辺を一層活性化させ、両拠点を繋ぐという市の考えに賛同する。	2	B	

京都刑務所敷地の活用を核とする未来の山科のまちづくり戦略(素案)に関する
市民意見募集に寄せられた主な御意見と御意見に対する本市の考え方

3 エリアの設定

NO	意見要旨	件数	区分	本市の考え方
127	山科が、JR京都駅から5分で、区内を南北に地下鉄が走るという魅力を活かし、「産業の創造」と「観光開発」のキーワードで、5つのエリア間で回廊を形成し、人の流れを創出し、山科全域を活性化に導くべきである。	1	B	5つのエリアにおいて、本戦略でお示ししているエリアの方向性に沿ったまちづくりを進め、山科駅周辺と榎辻駅周辺の拠点をつなぎ、人の流れを生み出し、山科の活性化に繋がるとともに、山科区基本計画に基づき、区の発展に向けて区内全域で進められている取組とも連携することで、山科を一層魅力あふれるまちにしていきたいと思います。
128	「拠点をつなぎ、人の流れを作る」とあるが、歩くのか公共交通を利用するなのかが、わかりにくい。	1	C	徒歩や地下鉄等の交通手段による場合も含め、山科駅周辺と榎辻駅周辺との間で人の流れを生み出し、人々が交流することで、まちや人が生き生きし、山科の活性化に繋がることができると考えております。

京都刑務所敷地の活用を核とする未来の山科のまちづくり戦略(素案)に関する
市民意見募集に寄せられた主な御意見と御意見に対する本市の考え方

4① 山科駅前エリア

NO	意見要旨	件数	区分	本市の考え方
129	山科駅前や三条通、外環状線の沿道をもっと有効活用してほしい。	1	B	本戦略では、山科駅前エリアの方向性として、更に活性化するための方策を検討することを掲げ、具体的な取組として、駅周辺の商業施設について、駅利用者、とりわけ若年層を含む幅広い層を惹き付け、回遊性を高め、滞在時間を増やすような店舗構成を検討することとしています。京の東の玄関口として、一層賑わいのある駅周辺になるよう、しっかり取り組んでまいります。
130	山科駅前の活性化のために、行列のできるスイーツや食べ物屋、京都初進出！など話題性のある店に来て欲しい。	1	B	
131	山科駅前は、若い人を引き付ける飲食店やファッション系の店舗などを集め、若い人が集まり買い物ができる場所になってほしい。	5	B	
132	トレンド商品を販売するお店の誘致などで、山科駅前を楽しいスポットにして欲しい。歴史・文化の町、品のある駅周辺になって欲しい。	1	B	
133	山科駅前に、ランドマークが新たにできることを期待したい。	1	C	山科駅前周辺は、市街地再開発事業が行われ、平成10年にラクト山科がオープンするなど公共施設や商業施設、商店街等も接続する区の拠点になっており、新たに大規模な開発を行うことは難しい状況です。このため、本戦略では、市内で3番目の乗車人数であるといった特徴を活かしながら、駅周辺の更なる活性化を図るため、駅周辺の商業施設について、駅利用者、とりわけ若年層を含む幅広い層を惹き付け、回遊性を高め、滞在時間を増やすような店舗構成を検討することとしています。本戦略の推進など、市政運営等を行うなかで参考にさせていただきます。また、新たに大規模な開発を行うことは難しい状況ですが、京都の東の玄関口としての新たな賑わいの創出を目的に、山科駅前地下道の壁面や柱等のリニューアルを検討してまいります。
134	山科駅には、集客できるイベントを行う駅前広場がなく、賑わいの創出が難しい。	1	B	
135	山科駅前をもっと開発してほしい。	1	C	
136	文化、芸術の副拠点として、山科駅前、地下鉄沿線の開発は必要である。	1	C	
137	山科駅前は、車の乗り入れ規制など、交通状況の改善が必要である。	1	C	
138	山科駅前エリアは、「和と歴史」を感じられる街並みにして欲しい。	1	C	
139	駅前が狭いので敷地を広げてほしい。	1	C	
140	山科駅は通過点となっており、駅前のロータリーが狭い。	1	C	
141	山科駅バスターミナルを観光客にとっても分かりやすくしてほしい。	1	C	
142	琵琶湖疏水と東海道沿いの史跡などを組み合わせ、散策エリアとして拡がりを持たせれば、山科駅を起点とした回遊性の高まりに繋げることができると思う。	1	C	
143	山科駅前エリアは、歩行者や子育て世代にやさしい駅前づくりを進めて欲しい。	1	C	本戦略や、観光面や交通・都市基盤面をはじめとする山科のまちづくりの総合計画である山科区基本計画の推進など、市政運営等を行うなかで参考にさせていただきます。
144	山科駅の近くにホテルを誘致してほしい。	1	C	
145	安心・安全のために、山科駅の高架改修を検討してほしい。	1	C	
146	山科駅前の活性化のために、京津線を地下にもっていければ南北の分断も解消しスペースを有効に使えるのではないかな。	1	C	本戦略では、子や孫の世代になっても、山科が活力に満ちた魅力的なまちであるために、山科駅周辺とともに、刑務所を含む柳辻駅周辺の活性化を図り、山科駅周辺と柳辻駅周辺との間で人の流れを生み出し、人々が交流することで、まちや人が生き生きし、山科の活性化に繋げることができると考えており、しっかり取り組んでまいります。
147	山科駅周辺だけ活性化させても、局地的に人が集まるだけで、山科区全体の活性化につなげるのは難しい。	1	C	
148	山科駅前は山裾がすぐそばに迫っているため、大きく発展する余地が少ないのが残念である。	1	C	山科駅周辺の商業施設について、若年層を含む幅広い層を惹き付け、回遊性を高め、滞在時間を増やすような店舗構成などにより活性化を図れるよう、検討を進めてまいります。

京都刑務所敷地の活用を核とする未来の山科のまちづくり戦略(素案)に関する
市民意見募集に寄せられた主な御意見と御意見に対する本市の考え方

4① 山科駅前エリア

NO	意見要旨	件数	区分	本市の考え方
149	山科駅に宅配ボックス設置の検討を願う。	1	C	本戦略の推進など、市政運営等を行うなかで参考にさせていただきます。
150	山科駅前エリアは、マンション急増で古くからの住宅地、商店などとの隔たりがある。古くから住んでいる者が住みにくなる開発は避けるべきである。	1	C	
151	アーケード天井付の商店街にしてはどうか。	1	C	
152	山科駅前エリアは、西側の三条通商店街の活性化が必須。特色のあるベンチャー的な店の誘致を図るべきだ。	1	C	

京都刑務所敷地の活用を核とする未来の山科のまちづくり戦略(素案)に関する
市民意見募集に寄せられた主な御意見と御意見に対する本市の考え方

4② 山科団地エリア

NO	意見要旨	件数	区分	本市の考え方
153	山科団地は、高齢化が進行しており、若い世代の入居など、活性化を検討していただけるとありがたい。	3	B	本戦略では、山科団地エリアの方向性は、子育て世代を呼び込むとともに、大学との連携や学生との交流等による活性化やコミュニティ強化を図るための方策を検討することとしており、今後、活性化に向けた具体的な取組について検討してまいります。
154	山科団地エリアの活性化に向けて、空き部屋や山科中央公園を活用し、高齢者が働ける場や、子育て世帯と高齢者の方々の交流の場などを設ける必要があるのではないか。	3	B	
155	山科団地から歩いて行ける商業施設や医院が少なく、高齢者にとって自立した生活を送りにくい状況になっている。	1	C	山科市営住宅は、平成24年度までに全ての棟で耐震改修を含むトータルリモデル(全面的改善)を実施しており、当面、これ以上の大規模な施設改修は難しい状況です。本戦略では、山科団地エリアの方向性は、子育て世代を呼び込むとともに、大学との連携や学生との交流等による活性化やコミュニティ強化を図るための方策を検討することとしており、ソフト面での取組を検討するうえで、参考にさせていただきます。
156	山科団地エリアの活性化に向けて、高齢住民の要望を聞き、エレベーターや手すりなどの設置を含め、移動、外出に支障がない住環境か、今一度確認が必要である。	1	C	
157	山科団地エリアの活性化に向けて、高齢者や障害者の居住状況を把握したうえで、支援にむけて関係職員による会議を開催してはどうか。	1	C	
158	市営住宅の耐震工事をを行い、エレベーターも設置されたが、入居者は半分位で高齢化が進んでおり、地域の荒廃化が不安だ。学生が入居できるように、大学との協定などを考えてほしい。	1	C	山科市営住宅は、平成24年度までに全ての棟で耐震改修を含むトータルリモデル(全面的改善)を実施しており、当面、これ以上の大規模な施設改修は難しい状況です。本戦略では、山科団地エリアの方向性は、子育て世代を呼び込むとともに、大学との連携や学生との交流等による活性化やコミュニティ強化を図るための方策を検討することとしており、ソフト面での取組を検討するうえで、参考にさせていただきます。
159	山科団地を大胆なリノベーションをして、子育て世代を呼びこむべきだ。	1	B	
160	山科団地エリアの活性化については、短期的、中長期的にどうするか、ソフト面とハード面の両面から考える必要がある。	2	C	
161	山科団地は、階層を減らし、和をイメージした外観にし、他都市からの転入者を受け入れてはどうか。	1	C	山科市営住宅は、平成24年度までに全ての棟で耐震改修を含むトータルリモデル(全面的改善)を実施しており、当面、これ以上の大規模な施設改修は難しい状況です。なお、他都市から転入される方も市内に通勤されているなどの入居要件を満たされる場合はご応募いただくことが可能です。
162	公営住宅のあり方を考えてはどうか。所得の少ない人には、民間の住宅に入ってもらい、行政が家賃を補助すれば、公営住宅の敷地の活用、京都市の経費削減、空き家の削減ができるのではないかな。	2	C	

京都刑務所敷地の活用を核とする未来の山科のまちづくり戦略(素案)に関する
市民意見募集に寄せられた主な御意見と御意見に対する本市の考え方

4③新十条通沿道エリア

NO	意見要旨	件数	区分	本市の考え方
163	新十条通沿道エリアは、交通量の多い新十条通に接道する道路を優先して無電柱化を図る。	1	C	本戦略の推進など、市政運営等を行うなかで参考にさせていただきます。
164	区内から新十条通へのアクセスを良くし、無償化を早くしてほしい。	1	C	
165	新十条が無料になると渋滞が心配なため、新十条では違法駐車取り締まりを徹底すべきである。	1	C	山科区基本計画において、「道路を快適にする」という基本方針を掲げ、京都府警察等の関係機関や地域の皆様と連携しながら、安全で快適な道路空間の整備を進めており、京都高速道路新十条通の無料化後においても、しっかり取り組んでまいります。
166	新十条が無料開放されると環状線が大渋滞となるので対策が必要である。	1	B	山科区基本計画において、「道路を快適にする」という基本方針を掲げ、京都府警察等の関係機関や地域の皆様と連携しながら、安全で快適な道路空間の整備を進めています。 なお、新十条通に関して、京都高速道路新十条通の無料化後に増加することが見込まれる交通量への対応策として、周辺交差点の改良工事など現時点で想定される必要な対策については、平成30年度末までに対策工事を行う予定としております。
167	柳辻地域、新十条通には商業施設を誘致してはどうか。	1	C	新十条通沿道エリアの活性化に向けた取組を検討するうえで、参考にさせていただきます。
168	新十条通沿道エリアは、トンネル無料化で渋滞も予想されるので、大型商業施設が乱立するのは反対である。緑地をつぶして建物を建てるのではなく、緑地を残すことも意味がある。	1	C	京都高速道路新十条通の無料化後に増加することが見込まれる交通量への対応策として、新十条通とこれに接続する主要道路の交差点の改良工事を、平成30年度末までに実施し、交通環境の改善を図ってまいります。 本戦略では、新十条通沿道エリアの活性化の方向性は、山科の活性化・にぎわいの創出、転入人口の増加を図るため、沿道エリアの有効活用を促進する方策を検討することとしており、同時に交通量増加への対応も検討することとしており、今後、取組を検討するうえで、参考にさせていただきます。
169	平面駐車場に大きなものが立つと地域の雰囲気が変わってしまうし、農地はそのまま残してほしい。	1	C	

京都刑務所敷地の活用を核とする未来の山科のまちづくり戦略(素案)に関する
市民意見募集に寄せられた主な御意見と御意見に対する本市の考え方

4④山科区東南部エリア

NO	意見要旨	件数	区分	本市の考え方
170	市街化調整区域の活用は、地権者の思いに添って進めて欲しい。	1	B	本戦略では、山科区東南部エリアの活性化の方向性は、山科区の活性化・賑わいの創出、転入人口の増加、企業誘致による雇用創出を図るため、この地域のまちづくりのあり方を検討することとしており、今後、地権者の皆様の御意見はもとより、都市基盤整備状況や土地利用状況などを踏まえて検討してまいります。
171	山科区東南部エリアは、宅地化か商業化を望む。	1	C	
172	東南部エリアは、体験型農業テーマパークを設けるのはどうか。	1	C	
173	山科区東南部エリアは、百々地域と同様、近郊農業が守られている地域で、第1次産業を守って欲しい。	1	C	
174	平面駐車場に大きなものが立つと地域の雰囲気が変わってしまうし、農地はそのまま残してほしい。	1	C	

京都刑務所敷地の活用を核とする未来の山科のまちづくり戦略(素案)に関する
市民意見募集に寄せられた主な御意見と御意見に対する本市の考え方

4⑤京都刑務所周辺エリア

NO	意見要旨	件数	区分	本市の考え方
【全般】				
175	京都刑務所の移転について賛成。移転の実現に向けて、頑張ってもらいたい。	136	B	10. 7haもの広大な面積を有し、地下鉄柳辻駅から徒歩5分という交通至便な場所にある京都刑務所の敷地は、今日では、市内の都市部では確保することが難しい、非常に貴重な土地です。こうしたことから、刑務所敷地の有効活用は、山科はもとより、京都全体の持続的な発展に大きく寄与するものと考えており、山科のイメージを変革し、新たな魅力を創出できるような有効活用の実現に向けて取り組んでまいります。
176	刑務所としてでなく、まちの活気が生まれる活用をして欲しい。		B	
177	刑務所敷地の活用により、区全体の活性化が期待できる。		B	
178	刑務所の近くで怖い思いはしていないが、イメージは悪いと感じる。移転することが大きな一歩で、イメージが変わることが望ましい。		B	
179	刑務所は必要だが、交通の便のいい現在の場所にあるのはもったいない。		B	
180	刑務所敷地に、山科のランドマークが新たにできることを期待したい。		B	
181	刑務所敷地には、観光客や周辺の人たちが山科を訪れようと思うような施設を望む。		B	
182	山科への交通アクセスの良さを活かし、まちに若い世代が増え、柳辻界隈が北山通界隈のようになると素晴らしい。		B	
183	色んな人が集まれる場ができると良い。		B	
184	刑務所敷地には、若い人が来たり、住みたいと思える地域になるための施設がいい。		B	
185	小さい子供が安心して遊べる場所が望ましい。		B	
186	刑務所敷地に作る施設と、山科に点在する観光資源をうまく連携させて有効活用する計画が立てられれば、山科のまちは大きく発展すると思う。		B	
187	山科区の課題解決、イメージや認知度の向上の起爆剤が、京都刑務所敷地の有効活用であると思う。		B	
188	刑務所敷地の活用で、山科の魅力を高め、観光客や若い世代に訪れてもらい、定住してもらいたい。		B	
189	京都刑務所エリアは、高さ制限、用途制限を見直し、自由度の高い運用を図るべきである。	C	C	現在、持続的な都市構造も踏まえた新景観政策の新たな展開について議論を進めており、参考にさせていただきます。
190	刑務所敷地を民間事業者が活用するとしても、行政として一定の投資や負担、およびインセンティブが不可欠である。		C	10. 7haもの広大な面積を有し、地下鉄柳辻駅から徒歩5分という交通至便な場所にある京都刑務所の敷地の魅力を最大限に引き出すためには、民間の知恵を工夫を活かしながら活用することが望ましいと思われるため、民間による活用が基本であると考えていますが、行政としての役割についても、今後、戦略を推進するなかで検討してまいります。
191	敷地の活用は、赤字になるような公共施設の誘致は反対である。民間の知恵と財力に委ね、山科の明日を切り拓いてもらいたい。		B	10. 7haもの広大な面積を有し、地下鉄柳辻駅から徒歩5分という交通至便な場所にある京都刑務所の敷地の魅力を最大限に引き出すためには、民間の知恵を工夫を活かしながら活用することが望ましいと思われるため、民間による活用が基本であると考えています。
192	刑務所をどこに移すかが問題だと思う。		C	京都刑務所敷地の有効活用については、移転先の問題など、高いハードルがありますが、引き続き、国に対して、移転をはじめとする有効活用の検討を粘り強く要望してまいります。
193	刑務所移転問題はかなり困難を伴うと思う。		C	
194	刑務所敷地は、山科駅から離れているが、100円バスを巡回させて皆が行き交える場所になることを望む。		C	京都刑務所敷地の活用に当たっては、周辺道路等の交通基盤のあり方等についても、慎重に検討する必要があると考えています。
195	山科刑務所敷地を活用するのであれば、周辺の交通網の整備、渋滞解消等が必要である。		B	
196	刑務所の跡地活用に当たっては、自然環境、景観、周辺の住環境にも配慮していただきたい。		B	京都刑務所敷地の活用に当たっては、周辺道路等の交通基盤のあり方、周辺環境との調和等についても、慎重に検討する必要があると考えています。
197	刑務所の移転には賛成する。にぎわいを創出する施設もいいが、静かに暮らせる環境も残してもらいたい。		B	

京都刑務所敷地の活用を核とする未来の山科のまちづくり戦略(素案)に関する
市民意見募集に寄せられた主な御意見と御意見に対する本市の考え方

4⑤京都刑務所周辺エリア

NO	意見要旨	件数	区分	本市の考え方
198	京都刑務所敷地に、今最も必要なものは、屋内の防災避難所である。		A	本戦略でお示した京都刑務所敷地の活用案においても、高度かつ先進的な防災機能を備えたオープンスペースを盛り込んでいますが、大学等の教育施設が屋内の避難所機能を担うことも期待できることから、その旨を本戦略の活用案に盛り込むこととします。
199	災害時の公的な避難施設も必要になるなど、刑務所敷地の引き渡し後に、住民の声を聞くための説明会をお願いする。		C	本戦略でお示した京都刑務所敷地の活用案においても、高度かつ先進的な防災機能を備えたオープンスペースを盛り込んでいますが、今後、刑務所敷地の有効活用が具体化し、事業の進め方等を検討するなかで、参考にさせていただきます。
200	刑務所周辺はこのままでも良い。		C	10.7haもの広大な面積を有し、地下鉄柳辻駅から徒歩5分という交通至便な場所にある京都刑務所の敷地は、今日では、市内の都市部では確保することが難しい、非常に貴重な土地です。こうしたことから、刑務所敷地の有効活用は、山科はもとより、京都全体の持続的な発展に大きく寄与するものと考えており、有効活用の実現に向けて取り組んでいくことが重要であると考えています。
201	近隣住民としては、刑務所施設があることに對して支障は全くない。むしろ、京都刑務所は住民との協調性が高い施設であり、地域の空間的存在で息苦しさや癒やされるスペースでもあり、あって良かったと感じる。		C	
202	刑務所施設で更生を図っている人々を住民が支援し、施設を住民に開放している現状は大切にすべきだ。		C	
203	京都刑務所は、地域に根ざした施設であり、山科の活性化の為に刑務所を移転させるのは反対であるし、新たな施設の誘致は多額のコストの無駄である。		C	
204	公的な保育施設や老人福祉施設が必要であり、刑務所敷地は民間活用すべきでない。		C	
	など			本戦略でお示した京都刑務所敷地の活用案においても、導入することが望ましい機能・施設として、子育て層や高齢者層など、区民の安心な生活を支える福祉・子育て支援施設を盛り込んでいます。 10.7haもの広大な面積を有し、地下鉄柳辻駅から徒歩5分という交通至便な場所にある刑務所の敷地の魅力を最大限に引き出すためには、民間の知恵と工夫を活かしながら活用することが望ましいと思われるため、民間による活用が基本であると考えています。
【良質な住宅】				
205	良質な住宅も良いのではないかな。	15	B	10.7haもの広大な京都刑務所敷地の活用にあたっては、緑豊かで潤いとゆとりのある良質な住宅や、AIなど最先端の研究開発を行う研究機関・企業など、山科のイメージを大きく変革し、新たな魅力の創造につながるよう、複数の機能・施設を導入することが望ましいと考えており、今後、市民の皆様の御意見も踏まえ、刑務所敷地の多様な活用の実現に向けて取り組んでまいります。
206	戸建てエリアの造成等を行うべきである。		B	
207	若い世代向けの住宅も必要である。		B	
208	職住近接の環境整備を図ると良いのではないかな。		B	
209	マンションは要らない。山科、ひいては京都の将来に向けて価値のある場所にしてほしい。		C	
	など			
【子育て支援・福祉施設】				
210	高齢者のための福祉施設、軽い運動ができる施設にして欲しい。	24	B	10.7haもの広大な京都刑務所敷地の活用にあたっては、区民の皆様の安心な生活を支える福祉・子育て施設など、山科のイメージを大きく変革し、新たな魅力の創造につながるよう、複数の機能・施設を導入することが望ましいと考えており、今後、市民の皆様の御意見も踏まえ、刑務所敷地の多様な活用の実現に向けて取り組んでまいります。
211	保育所やこども園、子育て支援施設ができると良い。		B	
212	高齢者のための総合福祉施設の構想を検討してはどうか。		B	
213	刑務所敷地の活用について、施設例に「福祉・子育て施設」があるので、高齢者の居場所づくりなど、取組の充実を期待している。		B	
	など			

京都刑務所敷地の活用を核とする未来の山科のまちづくり戦略(素案)に関する
市民意見募集に寄せられた主な御意見と御意見に対する本市の考え方

4⑤京都刑務所周辺エリア

NO	意見要旨	件数	区分	本市の考え方
【研究機関・企業】				
214	研究機関の誘致や新しい産業支援等として活用することで、山科の発展につなげて欲しい。	52	B	10. 7haもの広大な京都刑務所敷地の活用にあたっては、世界トップクラスの研究者・技術者が集い、京都ブランドを活かしたAIなど世界最先端の研究開発を行う研究機関・企業など、山科のイメージを大きく変革し、新たな魅力の創造につながるよう、複数の機能・施設を導入することが望ましいと考えており、今後、市民の皆様の御意見も踏まえ、刑務所敷地の多様な活用の実現に向けて取り組んでまいります。 また、こうした研究機関・企業、さらには大学との連携による相乗効果が期待できることや、刑務所敷地の交通便利性や地価等を考慮し、ベンチャー企業等が低家賃で入居できるインキュベーション施設も、本戦略の活用案に盛り込むこととします。
215	知的なIT企業等が来てくれれば山科のイメージも変わる。		B	
216	「山科区版リサーチパーク」をつくるのはどうか。		B	
217	企業を誘致し、働く場が増えたと良い。		B	
218	大学等と企業が連携することで、山科のイメージも変わる。		B	
219	刑務所敷地をベンチャー企業が活用すれば働きに来る人が増える。		A	
220	中心部より地価が低いことや交通の利便性を考慮し、ベンチャー支援施設を望む。		A	
221	人を呼び込める可能性が最も高い、高度な研究機関の誘致を望む。		B	
222	地元大学などとともに、最新のITテクノロジーとビジネス・医療・教育などをクロスさせた関連テーマ研究や、スマートシティ・スマートビジネスの先進例として活用することなどを組み合わせると、人口の増加や、地域および京都市のブランド力のさらなる向上を図ることができるのではないかな。		B	
223	大学や企業の研究者が集まる、AIやIoTなどテクノロジーを中心としたイノベーションを生み出す施設を望む。		B	
224	神戸市のように医療先端施設用地とするのも一案である。さらに、経済の活性化のために、研究施設やベンチャーのインキュベーション施設に、散策道やカフェ等、様々なアクティビティを併設することも必要である。		A	
225	AIやロボットなど、最新テクノロジーの展示・開発の場とし、一般の人も見学できる活用が望ましい。		B	
226	産業を創造する機能を中心に検討して欲しい。		B	
227	職住近接の環境整備を図ると良いのではないかな。		B	
228	産学連携でイノベーション創出やクリエイティブ人材の育成ができる施設も望ましい。		B	
	など			
【大学等の教育施設】				
229	都内の大学を誘致できないか。	99	B	10. 7haもの広大な京都刑務所敷地の活用にあたっては、大学等の教育施設など、山科のイメージを大きく変革し、新たな魅力の創造につながるよう、複数の機能・施設を導入することが望ましいと考えており、今後、市民の皆様の御意見も踏まえ、刑務所敷地の多様な活用の実現に向けて取り組んでまいります。
230	大学を誘致し、やましなGOGOカフェのような地域のまちづくりを皆で考える場に大学の知識を活かせるようにして欲しい。		B	
231	多様な世代が学び・交流できる大学などに来てもらいたい。地域貢献も期待する。		B	
232	世界で活躍する人材を輩出するような、先進的かつ実験的な教育施設が望ましい。		B	
233	イメージが一変するような大学に来てもらいたい。そうでない大学なら、地下鉄の駅近くでなくても良いと思う。		B	
234	高校・大学など、教育の質を高める活用がいい。		B	
235	京都のブランドを活かして、市外に出た大学を戻すくらいの気持ちが必要である。		B	
236	地元大学のキャンパスを移転してはどうか。地域全体の教育的・文化的基盤が確かなものになる。		B	
237	こども園から大学までの教育施設の充実を図ってほしい。		B	
238	大学の図書館、大学内保育所、生涯教育センター、小中学生がボランティアの大学生に無料で学ぶことができる教室、研究実習施設として活用すべきである。		B	

京都刑務所敷地の活用を核とする未来の山科のまちづくり戦略(素案)に関する
市民意見募集に寄せられた主な御意見と御意見に対する本市の考え方

4⑤京都刑務所周辺エリア

NO	意見要旨	件数	区分	本市の考え方
239	子供も大人も学びを共有できる空間や施設として活用できないか。		B	
240	質の高い教育を提供できる小中一貫校などの教育施設を望む。		B	
241	地元大学と連携し、例えば地域医療のための教育施設を整備する等も検討できるのではないか。		B	
242	地元大学との連携などにより、若者が集い、大胆な発想力と粘り強い行動力を育むまちというイメージの発信基地となるような活用を進めて欲しい。		B	
243	生涯学習センターや教育機関などを誘致すべきである。		B	
244	刑務所敷地に大学は要らない。大学が来たぐらいでイメージは変わらない。		C	
	など			
【文化・ものづくりの体験・交流・発信施設】				
245	烏丸御池のマンガミュージアムのような施設ができれば理想的で、山科の知名度も上がると思う。	27	B	10.7haもの広大な京都刑務所敷地の活用にあたっては、文化・ものづくり・観光を創造する機能など、山科のイメージを大きく変革し、新たな魅力の創造につながるよう、複数の機能・施設を導入することが望ましいと考えており、今後、市民の皆様の御意見も踏まえ、刑務所敷地の多様な活用の実現に向けて取り組んでまいります。
246	音楽活動など、市民の文化活動を披露する場が欲しい。		B	
247	ロームシアター京都や東部文化会館のようなホールができればいい。		B	
248	サークル活動や住民の行事が手軽にできるような文化的施設をができればいい。		B	
249	文教地区を目指し博物館などを設けて欲しい。		B	
250	山科博物館と京都文化発信テーマパークを併設した、体験型テーマパークはどうか。		B	
251	名産物がまとまるアンテナショップを作れば良い。		B	
252	道の駅(山科の特産品や工芸品を販売)を開設するのはどうか。		B	
253	お土産・飲食・観光案内所等が併設され、京都東ICから降りてきた観光客などのターミナル拠点を整備してはどうかと思う。		B	
254	伝統産業の施設は要らない。		C	
	など			
【防災機能を備えたオープンスペース】				
255	大人がくつろげる大きな公園はどうか。	65	B	10.7haもの広大な京都刑務所敷地の活用にあたっては、高度かつ先進的な防災機能を備え、区民や他の地域の方が訪れ、憩えるオープンスペースなど、山科のイメージを大きく変革し、新たな魅力の創造につながるよう、複数の機能・施設を導入することが望ましいと考えており、今後、市民の皆様の御意見も踏まえ、刑務所敷地の多様な活用の実現に向けて取り組んでまいります。
256	全ての人が楽しみ心を癒される「森林公園」を整備して欲しい。		B	
257	子供が安心して遊べるような公園が欲しい。		B	
258	座れるところ、弁当を広げられる場所、目玉の遊具などがあるような公園が欲しい。		B	
259	公園・スポーツのできる芝生広場などを望む。		B	
260	グランドゴルフなど、運動ができる施設、高齢者の憩いの場所が欲しい。		B	
261	防災機能を備えたスペース、広場が良いのではないか。		B	
262	刑務所周辺は散歩コースなのでその機能を残してもらいたい。		B	
263	天王寺動物園にあるような芝生広場を望む。		B	
264	兵庫県三木市にある「三木総合防災公園」のような防災と運動をコンセプトとした施設を作って欲しい。		C	
265	どんな施設ができる場合でも、区民や他の地域の方が利用できる公園や憩いの場などを作ってほしい。		B	
266	京都の底上げに繋がるような活用を望む。公園は不要である。		C	
	など			

京都刑務所敷地の活用を核とする未来の山科のまちづくり戦略(素案)に関する
市民意見募集に寄せられた主な御意見と御意見に対する本市の考え方

4⑤京都刑務所周辺エリア

NO	意見要旨	件数	区分	本市の考え方
【商業施設】				
267	大型商業施設(ショッピングモールなど)が来て欲しい。	70	B	10. 7haもの広大な京都刑務所敷地の活用にあたっては、生活の利便性を高め、賑わいを創出する商業施設など、山科のイメージを大きく変革し、新たな魅力の創造につながるよう、複数の機能・施設を導入することが望ましいと考えており、今後、市民の皆様の御意見も踏まえ、刑務所敷地の多様な活用の実現に向けて取り組んでまいります。
268	映画館などのアミューズメント施設があればいい。		C	
269	おしゃれな喫茶店や飲食店などができると良い。		B	
270	駐車場も併設された、ここでしか味わえないものが食べられるような特色のあるお店が望ましい。		B	
271	山科産の農産物を販売・食事できる施設などが考えられるのではないかな。		B	
272	商業施設は要らない。商業施設以外の用途で活用すべきだ。		C	
	など			
【その他】				
273	グラウンドや体育館など、スポーツ施設ができると良い。	68	C	10. 7haもの広大な京都刑務所敷地の活用にあたっては、山科のイメージを大きく変革し、新たな魅力の創造につながるよう、複数の機能・施設を導入することが望ましいと考えており、今後、市民の皆様の御意見も踏まえ、刑務所敷地の多様な活用の実現に向けて取り組んでまいります。
274	西京極運動公園のような規模の公共施設を望む。		C	
275	「山科スポーツ総合センター」構想として、ドームを含む全天候型総合運動公園を提案する。全国規模のスポーツや各種イベントの開催を行ない、収益を上げることができる。		C	
276	山科を「eスポーツの日本の拠点」にしてはどうか。世界中から選手や観客、関係者が多く訪れ、観光や商業面でも利益がある。		C	
277	「山科区総合センター」構想として、老朽化した区役所の移転新築を提案する。これに併せて行政施設の集約等を行ってはどうかな。		C	
278	区内に散在している区役所、図書館、体育館、文化会館等の公共施設を集約した総合庁舎としてはどうか。		C	
279	官公庁の受け入れはどうか。		C	
280	刑務所敷地に文化庁の高層ビルを造るのはどうか。		C	
281	現状の図書館が老朽化した際、刑務所敷地に移転してはどうかな。		C	
282	地下駐車場を備えた、地下鉄やバスの公共交通ターミナルを整備して欲しい。		C	
283	宿泊施設はどうか。山科の産業を活性化させ、かつ山科区内の観光地への観光客増加を働きかける役割も持たせることができる。		C	
284	ラグジュアリーホテルなどが建ち並ぶまちにして欲しい。		C	
285	IR(統合型リゾート)用地としてはどうか。		C	
286	子どもからお年よりまで多世代の交流の場となるスーパー銭湯を望む。		C	
287	1日ゆっくり時間を過ごせる温泉施設が欲しい。		C	
288	刑務所敷地には、遊園地ができてほしい。		C	
289	狭隘な山科の道路拡幅に伴う立ち退き家屋の移転先に活用してはどうかな。		C	
	など			

京都刑務所敷地の活用を核とする未来の山科のまちづくり戦略(素案)に関する
市民意見募集に寄せられた主な御意見と御意見に対する本市の考え方

5 戦略の推進に当たって

NO	意見要旨	件数	区分	本市の考え方
289	刑務所敷地をはじめ、地域の土地利用については、地元住民を含めて検討委員会等で十分議論を尽くして進めてほしい。	1	B	市民意見募集で市民の皆様から頂いた御意見を参考にさせていただくとともに、学識経験者や地域代表者等で構成する「山科の未来を語る懇談会」や、山科区内の全13学区の自治連合会会長の皆様への説明会を開催し、幅広い御意見を頂きながら、戦略の策定に向けた検討を進めてまいります。
290	これからの山科を担う若い世代の声が反映される方法をとってほしい。	1	B	本戦略の推進に当たっては、これからの山科を担う若い世代の方や、山科の様々な分野で活動されている方を含め、まちづくりの主体となる市民、事業者、大学、行政等が本戦略を共有し、意見を交わしながら、適切な役割分担のもとに、関係者との協働で、知恵と力を出し合いながら進めてまいります。
291	山科をフィールドに活動されている有識者の意見も聞いてほしい。	1	C	
292	戦略を強力に推進するにはカリスマ性のある実力者に来ていただく必要があると思う。	1	C	
293	戦略を強力に推進し、市内、区内での格差が是正されることを望む。	2	C	
294	刑務所敷地の活用を核とするまちづくり戦略に賛成。子どもを生み育てたいと思えるまちにして欲しい。	1	B	本戦略に掲げる京都刑務所敷地の活用を含め、山科の未来の発展、ひいては京都の発展につなげられるよう検討しながら策定し、策定後は、本戦略に掲げるまちづくりの方向性を実現できるよう取組を進めてまいります。
295	山科百年の計のため、自信を持って戦略を推進して欲しい。	1	B	
296	戦略を実現し、若い世代に魅力的な区にして欲しい。	1	B	
297	是非このプランを実現し、若い世代に魅力的な区にしてほしい。そのためにはマナーを守って品格を持つなど、住民の意識改革も必要だ。	1	C	本戦略の推進など、市政運営等を行うなかで参考にさせていただきます。
298	やましなGOGOカフェなどで区民が意見交換できないか。そうした場で意見を聞いてはどうか。	2	C	本戦略は、まちづくりの方向性を示す指針となるものであり、今後、本戦略の取組を進めていく際には、まちづくりの主体となる区民の皆様が主体的に取組内容を考えていくことも重要であると考えており、やましなGOGOカフェの場を活用し、意見交換するなどの方法も検討してまいります。
299	5つエリアの取組については、同時並行的に進めていただきたい。	1	B	本戦略に掲げる5つのエリアについては、いずれも将来のまちづくりを考える上で重要なエリアであり、各エリアにおける取組については、短期的に取り組めるもの、中長期的に検討すべきものも含め、同時並行で検討を進めてまいります。
300	刑務所が移転するときは、職員の生活のことも考慮して欲しい。	1	B	刑務所が移転する場合の移転先は、刑務所の職員の皆様の生活環境なども考慮されるべきものであると考えます。
301	国は、京都刑務所の建替え時に滋賀刑務所との合併を考えるなど、刑務所を長期的な視点で効率的に運営していく意識が欠落していたのではないかな。	1	C	国の矯正施設のあり方に関わる御意見であるため、本市の考えをお示しすることは差し控えていただきますが、引き続き、国に要望していくなかで、参考にさせていただきます。
302	国有地の有効活用の実現に向けて、政府与党の国会議員、府、市会議員と連携し、情報を共有して進めていただきたい。	1	C	適宜、地元選出の関係議員の皆様とも情報を共有しながら、実現に向けた取組を進めてまいります。
303	刑務所移転や敷地の活用について、知らない間に色んなことが住民抜きで決まっていくことに不安を感じる。	2	C	現時点で、京都刑務所移転の具体的な計画等がある訳ではありませんが、刑務所敷地の活用を含め、本戦略の推進に当たっては、まちづくりの主体となる市民、事業者、大学、行政等が本戦略を共有し、意見を交わしながら、適切な役割分担のもとに、関係者との協働で、知恵と力を出し合いながら進めてまいります。
304	刑務所敷地の活用について、民間による活用を基本としており、企業の儲け優先の考え方となっている。	9	C	10.7haもの広大な面積を有し、地下鉄柳辻駅から徒歩5分という交通至便な場所にある京都刑務所の敷地は、今日では、市内の都市部では確保することが難しい、非常に貴重な土地であり、その有効活用は、山科はもとより、京都全体の持続的な発展に大きく寄与するものであり、有効活用の実現に向けて取り組んでいくことが重要であると考えています。 このような広大な面積を有する京都刑務所の敷地の魅力を最大限に引き出すためには、民間の知恵と工夫を活かしながら活用することが望ましいと思われるため、民間による活用が基本であると考えています。

京都刑務所敷地の活用を核とする未来の山科のまちづくり戦略(素案)に関する
市民意見募集に寄せられた主な御意見と御意見に対する本市の考え方

その他

NO	意見要旨	件数	区分	本市の考え方
305	刑務所は山科になくともかまわないが、移転の話が社会全体で更生保護を考えるきっかけとなればと思う。	1	C	本戦略の推進など、市政運営等を行うなかで参考にさせていただきます。
306	市は、双京構想を進めるためにも、明確な都市づくり戦略を具体的に構築する活動をプロジェクトとして7年以内に打ち出していくべきである。	1	C	本戦略の推進など、市政運営等を行うなかで参考にさせていただきます。
307	公立中学の自転車通学を許可してほしい。	1	C	教育行政を進めるうえで、参考にさせていただきます。
308	外環状線との土地を買って欲しい。	1	C	本戦略の推進など、市政運営等を行うなかで参考にさせていただきます。
309	滑石街道に樹木で車のミラーが見えない場所があり非常に危険である。剪定をお願いする。	1	C	関係部署と連携し、安全対策に努めてまいります。
310	先日の台風で山の木が倒れたままのところがある。安心できるようにしてほしい。	1	C	台風による倒木被害を受けた人工林については、復旧が進むよう、森林所有者等に対する支援に努めてまいります。